

【特別研修・在外研究成果報告書】

研究者	所属・職位	氏名
	外国語学部フランス語学科・教授	岩崎 えり奈
研究課題	北アフリカ地域の社会変容 ―環境・人口・家族・地域社会	
研究期間	2019年 4月 10日 ～ 2020年 3月 19日 (344日間)	
主な研究機関 又は場所	カイロ大学農学部・CEDEJ (Centre d'études et de documentation économiques, juridiques et sociales) /カイロ (エジプト)	
研究成果の概要		
<p>2019年4月から2020年3月までの在外研究期間中は、エジプト・カイロのカイロ大学農学部ならびに CEDEJ (Centre d'études et de documentation économiques, juridiques et sociales)に客員研究員として受け入れていただき、研究会や授業に参加しました。CEDEJ では、Agnès Deboulet 所長はじめフランス人の研究者や留学生と交流し、②を発表する機会を与えられ、フランスのエジプト・中東研究に関して多くの知見を得ることができました。他方、カイロ大学農学部においては、Mohammad Abdel Aal 教授など農村社会学科の教授との意見交換や授業参加を通して、エジプト農村社会研究に関して多くのことを学ぶことができました。</p> <p>在外研究は、主に次の3つのテーマに関して行いました。第一は、科研費基盤研究A「北アフリカ乾燥地域における持続可能な地下水利用システムの構築」のフィールドであるエジプト・ダハラオアシスにおける地下水の持続的な開発・有効利用研究に関してで、2019年4月と9月、2020年2月と3月の4回に渡り、現地調査を行うことができました。また、カイロ滞在中に国立リモートセンシング空間科学研究所 (NARSS)、JICA やアスワン大学などと地下水開発に関して交流することができ、新しい知見を得ることができました[④、⑤、⑧]。それらの研究成果の一部は、編著本 <i>Sustainable Water Solutions in the Western Desert, Egypt: Dakhla Oasis</i>(2020 forthcoming, Springer)にまとめました。とりまとめの過程で水文学、地質学、リモートセンシング、地理学、農業土木工学などの理系エジプト人研究者らと地下水に関して議論することができたことも有意義な経験でした。</p> <p>第二は、チュニジア南部タタウィーン地域における人口・ジェンダー・家族に関する調査研究であり、2019年4月、7月、11月、12月、2月に現地調査を行いました。その研究成果の一部は、3と5に発表しました。</p> <p>第三は、人間文化研究機構 (NIHU) 現代中東地域研究上智大学拠点の研究テーマである中東の「公共空間」に関する共同研究で、CEDEJ と国際セミナー “Public Space, Public Sphere and Publicness in the Middle East” を2020年3月8日～9日に上智大学イスラーム研究センター、CEDEJ, 日本学術振興会・カイロ研究連絡センターの共催にて企画したことです。新型コロナウイルス感染症感染拡大のなかで、日本の他大学教員や、フランス、サウジアラビア、レバノン、アルジェリアからの参加者がエジプトに渡航できなくなりましたが、スカイプによるオンライン研究発表に切り替えることで国際セミナーを実施することができました。会場の Institut Français d'Archéologie Orientale (フランス東洋考古学研究所) には30名近くの参加者が2日間に渡り集まり、中東の「公共空間」に関して多角的に議</p>		

論することができました。私は① “Transformation of local society and politics in Jordan: Focus on Diwan Ashira” の題名で報告を行い、伝統的な共同体と公共空間について意見交換できたほか、フランスやエジプト式の国際会議の組織化などに関しても大いに学ぶ機会になりました。

最後になりましたが、一年間の特別研修・在外研究という貴重な機会を与えてくださったことに対し、上智大学、外国語学部、とりわけフランス語学科の先生方に心よりお礼を申し上げます。

論文・図書等

1. Iwasaki E, Negm A, Elbeih S (eds) *Sustainable Water Solutions in the Western Desert, Egypt: Dakhla Oasis* (2020 forthcoming, Springer)
2. 柏木健一・岩崎えり奈 ”Effect of agglomeration on technical efficiency of small and medium-sized garment firms in Egypt”. *African Development Review*, 32, pp.14-26, African Development Bank 2020/3
3. 岩崎えり奈 「チュニジア南部タタウィーン地域における女性の出生行動の変化」『アジア経済』 LXI(1), pp.35-67, 2020/3
4. 岩崎えり奈・柏木健一 “ Farming Patterns in Date Palm Cultivation in Nefzaoua, Southern Tunisia” In Bolduc ed. *Date Palm: Composition, Cultivation and Uses*. Nova Science Publisher 2020/3
5. 牧野久美子・岩崎えり奈編著『新世界の社会福祉 11巻 アフリカ/中東』旬報社 2020/3
6. (表紙解説) 岩崎えり奈 「スポーツとムスリム女性」『地中海学会月報』 2019/11

研究発表

- ① 岩崎えり奈、北澤義之 “Transformation of local society and politics in Jordan – Focus on Diwan Ashira” International Seminar "Public spaces, public spheres and publicness in the Middle East" IFAO (Cairo) 2020.3.9
- ② 岩崎えり奈 “Regional diversity in Egypt through the lens of Urban- Rural Linkage”. Atelier du Recherche du CEDEJ, CEDEJ (Centre d'études et de documentation économiques, juridiques et sociales) (Cairo), 2020.1. 21
- ③ 岩崎えり奈、北澤義之「ヨルダンにおける公共空間としてのディーワーン：ヨルダン北部の事例から」第35回中東学会年次大会 秋田大学 2019.5.12
- ④ 岩崎えり奈 “Research issues and questions on oasis study - Development of joint research project on dakhla Oasis (Egypt)”. 6th International Workshop for Enhancement of Egypt-Japan Joint Research Projects in Egypt. Archaeology, Heritage Sciences, Community and Water Management, NARSS (National Authority of Remote Sensing and Space Science) 2019.12. 23
- ⑤ 岩崎えり奈 “Issues on sustainable development of water-scarce society – Case of Dakhla Oasis (Egypt)” International Conference “Water Scarcity Challenges and solution”, Fairmont Nile Tower, Cairo, 2020.2.19
- ⑥ Iwasaki E., Elbeih S., Shalaby A., Zaghoul E. “Wells and Land Use Changes in Dakhla Oasis (Egypt) Using Geo-Spatial Analysis: Case Study of Rashda Village”. Tunisia-Japan Symposium on Science, Society and Technology (TJASSST) チュニジアー日本 文化・科学・技術学術会議 2019, Sousse, Tunisia 2019.11.30
- ⑦ 岩崎えり奈 "Groundwater Development in Dakhla Oasis in Western Desert (Egypt): History of Wells in Rashda Village" 2019 KAMES International Conference, Hankuk University of Foreign Studies (HUFS) ソウル・韓国, 2019.11. 23

【特別研修・在外研究成果報告書】

- ⑧ 岩崎えり奈”Research collaboration for the efficient water-use in the water-scarce society: Western Desert”. Seminar on water-use in Egypt, Aswan University (Egypt) 2019.9.12
- ⑨ Boubakri, H., Iwasaki E. “Coping with the aridity in the rural and semi-nomad societies. Case of Tataouine/ South-East Tunisia”. Tunisia-Japan Symposium on Science, Society and Technology (TJASSST) チュニジアー日本文化・科学・技術学術会議 2019, Sousse, Tunisia 2019.11.30

以上